



お兄ちゃん（18歳以上）向。

たからのすすなり 1999 / SUMMER

窓の友2号

たからのすずなり
Presents

窓の友 2号



Yoshiko
Fujiya



Yoshiko
Fujiya

まんがき。

Kaiha &
Setsuna
Yukiyo. Kouno



• 無罪の友2号にこぎけました。
このか今の時点を夏の日にゆが
と一かかかいませんが(泣)。

• 残りの時間の中心で進行中の
のこまやたれりて可なり
ながら川は海上に浮かぶ

• へ行まぬもまたうりま
ていたからとて非
かんにてプルストリ
マ。

これはまた一
ころの

最強妹伝説

11/16





おははは
にんにに

おにいちゃん
たのしみだね
おはははにんに



おははは
おはははに
はま...



はは
はは
はは



はは



おははは
にんに



おははは
にんに





you Amagi

- Love sickness -



Kuriyo Kouho



いいよ
乃 繪美...
また今度って
ハハハハハ

アールは
逃げるわけが
ないんだし

こっし
行ってきこ

けんは
せんが、あつ
しんたがらん



ん?...

——アゲルモウチー

おんこ

行くか
アゲル...

カキヤ

おんこ
B給美

アイス
買って来たぞ

おんこさんー!?



かたかたかた
いんちき
...アツアツ...

ニニニ
アツアツ

アツアツ
アツアツ
アツアツ



う..
アツアツ

アツ..
アツアツ
アツアツ
アツアツ
アツアツ
アツアツ



アツアツ...



アツアツ...

ニニニ..
アツアツ
アツアツ
アツアツ



うん

ほんたに風邪にちょっと感謝

お兄ちゃんの背中を ひとりじめ...♡



新しい水着
買ったんだろ



見たらたけ



あ...と...

たむたむ
乃給美大

あんまり
くっついてる



ノビニモ一志
イロイロせま
しんまんたから



ちがらッ

うららる

ちがらッ!!



こ..
あ..あ66..
きん...



イロイロ..
あ66あ2あ6



キヤ
ー

β..

あ66あ66
あ66あ66

うら





ん

あ...

んあ

どろろ

あ

んあ



おに...

は...は...
は

は...は...

おめせん[〃]

ここので
おめせん
おめせん
おめせん
おめせん
おめせん
おめせん

おめせんは
おめせん
おめせん



—花火—
黒川みち.

「はやく、はやくー!」

「ミャー」が嬌声をあげる。

「ちよつと、待てつてば」

「もお、もう少しゆっくり歩いてよオ」

「だってだってエ、もう花火はじまっちゃうよ
〜〜ん」

いつものメンバーで花火を見に川原まで出てきたが、人混みの中で乃絵美だけが遅れがちになる。うまく人を避けて歩けないようで、しよつちゆう人にぶつかっては頭を下げてい
る。

「大丈夫か、乃絵美」

ホラ、と正樹が手を差し出す。

「ごめんね、お兄ちゃん」

乃絵美が遠慮がちに手を伸ばす。

もつすでに2人は一行からかなり遅れていて、正樹の視線の先にかろうじて菜織の頭が見え隠れしている。その前を歩く「ミャー」や「子」は影すら見えない。

トオ———ン

「あつ」

ホ、ホホホホオン

「お兄ちゃん、見て見て♥」

夜空に大輪の花が広がる。

「きれいねえ」

「ああ……あつっ」

正樹の大声に乃絵美がヒックリして身を引く。

「ど、どうしたの?」

「やべエ、菜織たち、見失っちゃったよ」

「この人混みの中じゃ、見つけるのはムリだろ
うなあ」

どうしよう？ と乃絵美が少し不安そうに
首をかしげる。

「ま、せつかくだから、テキトーに花火見てこ
うぜ」

浴衣の裾を少し気にしながら、乃絵美は兄
に手を引かれて急ぎ気味に歩く。

「ほら、こっち」

正樹が土手の斜面に2人並んで腰掛けられる
小さな空間を見つける。雑草の上にGパンで
トカツと座る。

ちよつと困ったように立っている乃絵美を
見て、正樹はああ、と一人こちる。

「これでいい？」

ポケットから大判のハンカチをだして草の
上に広げる。

「ありがとう、お兄ちゃん」

「ほら、ここからだと良く見えるだろう？」

空を仰ぐと、ほとんど遮るモノのない夜空
に花火が次々とあがっている。

「ほんと、来てみて良かったね」

例年は菜織のうちの境内から街を見下ろせ
るので、多少木々に遮られるが、けっこうい
いロケーションで花火大会を見ていたのだが。
「やっぱり、近いと迫力もちがうね」

うつとりと、空を見上げながら乃絵美が言
葉をつなぐ。

「ほんと、キレイ」

「ああ、キレイだ」

乃絵美が正樹の言葉に振り返る。

正樹が見ているのは、夜空ではない。

乃絵美はつないだままの手を意識して赤面する。

「乃絵美が、一番、キレイだよ」

くちづけ。

花火が2人の横顔を照らし出す。

「お兄ちゃん……」

「乃絵美……」

つないだ手から、重なったくちびるから、互いの不安が伝わってくる。兄妹という消せない刻印。歩き出してしまった恋という名の心の高鳴り。

……

ドドドド……

「……あ」

「……うん」

そつと身を起こす。

兄と、妹。言葉にしてはならない恋心を抱いて、2人夜空を見上げる。少しばかりの風が煙を空のあなたに運び去る。

菊、しだれ桜、職人の腕のみせどころとばかりに豪華な花火が夜空に飛び交う。

きつと、大丈夫。

つないだ手が、そつ言っている。

「お兄ちゃん？」

「大好き♥」

いつまでも、お兄ちゃんは、乃絵美のお兄ちゃんだよ、と心の中でつぶやいた。

◦SPECIAL THANKS. 富士屋好子様 (12歳11月、17才ありかと17才) 20歳未満様 (17才) 黒川みさと様 (17才)

天穂 裕花 (17才11月、17才ありかと17才) 20歳未満様 (17才)

(17才)

MADONOTOMO VOL. 2

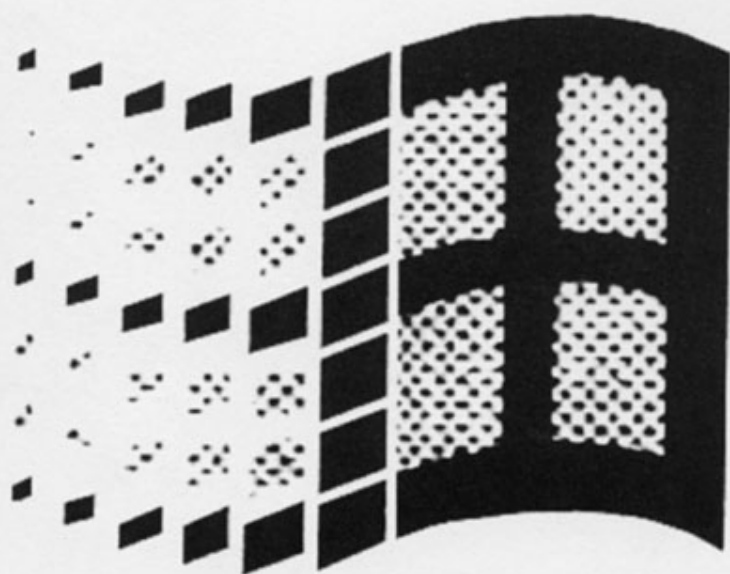


YUKIYO KOUNO

次回イベントは 7月12日(9A)の予定です。20歳未満様はご遠慮ください。

発行：たからのすずなり
発行日：1999.08.15
印刷：株式会社 日光企画

〒241-0288
神奈川県鎌倉市国分寺
1-33-27-221 国分寺
こうの ゆきよ



<http://www.din.or.jp/~ruriruri/>

窓の友2号

